

第11回 教育再生会議 議事要旨

日 時：平成19年12月25日（金）16：30～17：00

場 所：総理官邸小ホール

出席者：福田内閣総理大臣、町村官房長官、渡海文部科学大臣、大野官房副長官、岩城官房副長官、二橋官房副長官、池坊文部科学副大臣、山谷総理大臣補佐官、有識者委員9名

（野依座長）

第三次報告を取りまとめるべく、議論を重ねてきた。本日は成案をとりまとめたいと考える。最初に、山谷補佐官より、報告書案を説明いただきたい。

○山谷補佐官より、第三次報告案を説明。

（野依座長）

第三次報告案は、前回の合同分科会で座長、座長代理に一任いただき、運営委員とも相談の上、委員の皆様のご意見を概ね反映させていただき形で修文を行った。本案をもって皆様にご了承いただきたい。

○一同、異議なし。（第三次報告了承される）

（福田内閣総理大臣）

10月以来、委員の皆様方に熱心に御審議いただき、本日、教育再生会議の第三次報告をおまとめいただいた。素晴らしい報告をおまとめいただき、野依座長、池田座長代理をはじめ委員の皆様方に感謝申し上げます。

今回の報告では、最初に、「社会総がかりで、自立して生きる力と共に生きる心を育む」という基本的な考え方が書かれている。これは、内閣の掲げる「自立と共生」とも符合するものであり、有り難く思っている。

第三次報告で示して頂いた7つの方向性は、いずれも重要であり、まさに国民のみなさまの求めているもので、大変的確なご意見をいただいたと思っている。

前日も申し上げたが、豊かな時代に育つ子供の教育には、難しい面があると感じている。豊かな社会で、何でも物が与えられる時代の教育にはそれなりの工夫が必要である。子供は、社会の鏡、社会の自画像でもあり、社会の姿が子供に反映されることを考えると、社会を構成する大人たちがどうするかが問わ

れている時ではないか、そういうことも併せてこれから教育を考えていかななくてはならないと考える。

いただいた報告を踏まえ、政府として、子供たち、若い世代の皆さんが、将来に対して、意欲と希望を持って、物事に取り組んでいけるような社会になるよう、教育改革にしっかりと取り組んでまいりたい。今後ともよろしく願いしたい。

○野依座長より、福田内閣総理大臣に教育再生会議第三次報告を手交。

(町村官房長官)

委員のみなさまには、大変なエネルギーを投入いただき、有り難いことと思っている。皆さんのご提言は、既に渡海大臣のご努力で、平成20年度政府予算原案にも相当盛り込まれている。必要な法律改正については、文部科学省が、一度に、来年全てを出来るかは分からないが、しっかりと準備をして法改正等も行い、ご提言を福田内閣として活かして参りたい。渡海大臣にも大いに頑張っていたいただきたい。引き続きやらなくてはならないフォローアップ、実施状況のチェックをどのような体制で行うかについて、福田内閣として取り組んでいく体制作りは重要であると考えているので、会議にてご議論、ご提言いただきたい。皆さんのご提言が生きていくように努力をしたいと考える。

(渡海文部科学大臣)

委員の皆さまにお礼を申し上げる。教育は非常に難しいと、つくづく感じている。色々なご議論、ご提案があり、また、色々やることがあるというのが率直な実感である。私は就任して3ヶ月だが、1年とは言わないまでも半年以上経過したのではないかと実感を持つくらいに、良い意味で忙しい日々を送っている。

第三次報告について、文部科学省として、大きな宿題をいただいたという思いである。我々は、これらの提言を踏まえ、これから教育振興基本計画を作り、学習指導要領の改訂作業を行い、中教審でも議論いただきながら、教育再生の実を上げるべく全力で取り組んでいきたい。法律をどうするかは、内閣でお決めいただくことであるが、具体的にやるのは文部科学省だと考えている。それも念頭に置きながら、議論していただくよう中教審にもお願いしてまいりたい。教育再生についての私自身の思いもあるので、良い意味で、それらも盛り込みながらこれを受け取っていききたい。ご努力に、心から感謝申し上げます。

(山谷補佐官)

教育再生会議はバランス感覚に優れ、熱い会議であったと思っている。地方には、良いものを実践しているところが随分あり、それを全国に広げていく。知・徳・体のバランス、その向上をめぐる、国として応援すべきところをきちんと応援していくという思いで議論をしてきたと考えている。総会、合同分科会、分科会であわせて50回、委員現地視察で26カ所、それらを通して、第一次、第二次報告書では、立法につながったもの、予算編成に反映されたものが多々あった。この第三次報告書も実っていくように考えて参りたい。

(野依座長)

本日の第11回教育再生会議は、これにて閉会とさせていただきます。